

「漁場図」を読む

2015 12/5 (土) 13:00-18:00
神奈川大学 横浜キャンパス 3号館 305教室

パネル報告

- 「なぜ『漁場図』は残ったか—常民研所蔵資料から—」
窪田 涼子・越智 信也
- 「松江藩・島根県の『漁場図』情報を読み解く—歴史学からのアプローチ—」
伊藤 康宏
- 「近世・明治期の漁場図、沿岸絵図にみる景観表現—歴史地理学からのアプローチ—」
橋村 修
- 「漁場図の活用と可能性—地理学からのアプローチ—」
横山 貴史
- 「ヤマアテと漁場図—民俗学からのアプローチ—」
安室 知

総合討論

- 「漁場図研究のこれから」 パネリスト全員 (司会：安室 知)

参加
無料

主催：神奈川大学日本常民文化研究所

【お問い合わせ】 TEL 045-481-5661(代) 内線 4358 神奈川大学日本常民文化研究所

シンポジウム「漁場図」を読む

日本常民文化研究所はその発足の早い段階から漁業制度資料等による海域・海民史の研究に取り組み、能登半島や二神島といった地域で多くの研究蓄積をなしてきた。また、本年度からは、共同研究「海域・海村における景観史に関する総合的研究」に取り組んでいる。本シンポジウムはそうした研究蓄積をもとに、常民研に所蔵される膨大な数の「漁場図」に焦点を当て、その研究資源としての価値を問うものである。

海は、水産物だけでなくさまざまな資源を生み出す空間であるとともに、その利用に当たっては人・物・情報の行き来する場となり、またそうした生活の営みを通して社会知や民俗知が膨大に集積される空間となっている。反面、負の記憶として、海域の利用をめぐる個人や村のレベルから国際的な問題までさまざまな対立や紛争を生んできたし、また海という大自然とたえず対峙する海村では大きな災害や事故が歴史的に繰り返されてきた。そうした海域・海村の歴史文化について、「漁場図」を手がかりに、学際的に研究することが本シンポジウムの主な目的となる。

講師紹介

- 窪田 涼子 (神奈川県日本常民文化研究所)
日本中世史 「中世村落における宮座とその機能」(『国史学』184, 2004年)、戦国期地域社会における憑子の構造」(『中世の紛争と地域社会』岩田書院, 2009年)
- 越智 信也 (神奈川県日本常民文化研究所)
日本中世史 「史料としての伝承巻物一浮鯛抄」から「浮鯛系図」へ(『歴史と民俗』24, 2008年)、「魚食文化の系譜」(共著、雄山閣, 2009年)
- 伊藤 康宏 (島根大学)
水産史・水産経済学 『山陰の魚漁図解』(今井出版, 2011年)、「明治前期の漁業制度変革に関する研究—島根県を中心に」(『国際常民文化研究叢書 2』神奈川県国際常民文化研究機構, 2013年) ほか
- 橋村 修 (東京学芸大学)
歴史地理学・環境民俗論・漁業史 『漁場利用の社会史』(人文書院, 2009年)、「江戸末期薩摩藩領内の海産物からみた『地魚』利用」(『国際常民文化研究機構年報 5』神奈川県国際常民文化研究機構, 2015年) ほか
- 横山 貴史 (立正大学)
人文地理学・漁業地理学 「北海道函館市南茅部におけるコンブ養殖業の地域差」(『地理学評論』84-6, 2011年)、「黒部市生地地区における漁業の変遷と地域資源を活用した漁村地域活性化の取り組み」(共著) (『人文地理学研究』33, 2013年) ほか
- 安室 知 (神奈川県日本常民文化研究所)
民俗学 (生業論・環境論)・物質文化論 『日本民俗生業論』(慶友社, 2012年)、『水田漁撈の研究』(慶友社, 2005年) ほか

- お申し込み 「12月5日(土) 常民文化研究講座 参加希望」を明記の上、
①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④連絡先電話番号を記載し、
メール、FAX または葉書にて、**11月30日(月)まで**にお申し込み下さい。
当日参加も歓迎いたしますが、定員(150名)に達し次第締め切らせていただきます。
- 宛先 **メール: jomin-kouza19@kanagawa-u.ac.jp FAX: 045-413-4151** または葉書にて、
〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川県日本常民文化研究所 宛
- お問い合わせ 神奈川県日本常民文化研究所 TEL 045-481-5661(代) 内線 4358
※お申し込みの際にいただいた個人情報は講座の実施・運営にのみ使用いたします。

神奈川県日本常民文化研究所

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1
Tel: 045-481-5661(代)
<http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/>

交通アクセス

- 東急東横線「白楽駅」下車 徒歩13分または
- 横浜駅西口/バスターミナルから横浜市営バスを利用
1番乗場 36系統 菅田町または緑車庫行「神奈川県大学入口」下車 または
1番乗場 82系統 八反橋または神大寺入口行「神奈川県大学入口」下車
※駐車場がありませんので、自家用車の利用はご遠慮ください。

